



発行:八幡市教育委員会 令和4年(2022年)3月8日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第78号

おもな記事

- ◆令和3年度全国学力・学習状況調査 1面
- ◆おはなし会 再開しました 2面
- ◆名勝松花堂及び書院庭園の災害復旧事業 2面
- ◆小・中学生人権啓発ポスターコンクール 3面
- ◆教育に関する相談及び不登校に係る支援 3面
- ◆各幼稚園(こども園)の取組 4面

を開始したGIGAスクール構想で整備したタブレット端末を活用し、授業のユニバーサルデザイン化や、主体的・対話的で深い学びによる授業改善がなされた成果が表れてきたと考えられます。また、自己肯定感や人の役に立つ人間になりたいなど、学習を downstream

全国学力・学習状況調査 質問紙調査の結果より

	小学校		中学校	
	平成19年度	令和3年度	平成19年度	令和3年度
自分には良いところがあると思いますか	約65%	約70%	約67%	約77%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	約89%	約93%	約85%	約96%
国語の授業の内容はよく分かりますか	約71%	約81%	約66%	約73%
算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	約76%	約87%	約58%	約71%

全国学力・学習状況調査が開始された平成19年度と、令和3年度の結果を比べると、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、左の表のような結果になりました。授業の内容がよく分かったり、各教科で、今年度から本格的に運用

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省による全国学力・学習状況調査が、二年ぶりに小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました。教科に関する調査(国語、算数・数学)は、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようにしていることが望ましい知識・技能等と知識・技能等を実生活の様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等を一体的に問われました。また、例年同様、生活・学習環境に関する質問紙調査も行われました。

児童生徒の意識でも肯定的な回答が増えました。

教科に関する調査より

小学校の国語で、全国平均を上回った内容もありましたが、八幡市全体として見ると、小・中学校ともに全国平均を下回りました。

小学校の算数で特に課題が見られたのは、「異種の2つの量の割合として捉えられる数量に関わる数学的活動を通して、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること」でした。

中学校の数学で課題が見られたのは、次のような問題です。

この問題は、「目的に応じて式を变形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する」

(2) 二人は、両角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることが成り立つかどうかについて話し合っています。

優太さん「左上の数が1のとき、右下の数が6になっているね。四角で4つの数を囲むとき、左上の数は5を必ずと右下の数は1になっているよ。」
真菜さん「そうなるのは、自然数を5ずつずつ区切っているからだね。」
優太さん「左上の数をnとすると、右下の数はn+5と表すことができるね。」
真菜さん「右上の数と右下の数もnを使って表して、4つの数の和について調べてみよう。」

「四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になる」という優太さんの予想が成り立つことの説明を完成させよう。

説明

nを自然数として、四角で囲んだ4つの数のうち、左上の数をnとすると、右上の数はn+1、右下の数はn+5、左下の数はn+6と表される。この4つの数の和は

$$n + (n + 1) + (n + 5) + (n + 6) =$$

問題でした。このように、具体的な事象の中に数量の関係を見いだし、それを文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようになることが課題となっています。

文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ、説明できることと、目的に応じて簡単な式に変形することが大切です。

課題等を踏まえ、学習支援員等を活用した指導や少人数指導、発展的、補充的な学習などの個に応じた指導を引き続き実施し、タブレット端末等を用いた授業改善や、教員の授業力の向上の研修に取り組むなど、学力の向上を目指します。

また、保護者や地域の皆様等の御理解と御協力のもとに十分連携を取りながら、放課後における学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組を進めていきたいと考えています。

令和3年度全国学力・学習状況調査の問題、正答例は「国立教育政策研究所」のホームページで公開されていますので御参考にしてください。

(学校教育課)

おはなし会 再開しました

新型コロナウイルスの流行拡大により中止していたおはなし会を、令和3年12月より、八幡市民図書館・男山市民図書館ともに再開しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、読み手及び参加者のマスク着用、入場時の検温・消毒、参加人数制限（5名程度）といった対策をとっての開催となりました。

12月11日（土）に男山市民図書館、12月25日（土）に八幡市民図書館で開催し、それぞれ5名と7名、計12名の子どもたちが参加しました。

約2年ぶりの開催だったこともあり、今までおはなし会に参加したことのない子どもも多くいました。最初は、少し緊張気味でしたが、少しずつほぐれていく様子に読み手もおはなし会の醍醐味を味わうことができました。

今後も、子どもたちが様々な物語を体験でき、すこやかな心をはぐくみ生きる力を育てる場として開催してまいりたいと思います。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合もありますが、当面は八幡市民図書館では第4土曜日、男山市民図書館では第2土曜日、4歳から小学生までを対象に開催してまいります。開催時間は午後2時30分から約30分です。

子どもたちの参加を心よりお待ちしております。（市民図書館）



八幡市民図書館で開催した時の様子



名勝松花堂及び書院庭園の災害復旧事業について

平成26年に国の名勝に指定された松花堂及び書院庭園は、平成30年に発生した大阪北部を震源とする地震により、石灯笼、表門、書院等が被災しました。これらは、名勝の重要な構成要素と位置付けられているため、令和元年より国の補助を受け、災害復旧事業にて修理工事を実施しています。

書院は、かつて石清水八幡宮境内に存在した松花堂昭乗ゆかりの僧舎、泉坊に建っていた客殿の一部を組み込む形で造られた建物で、建物の大部分に伝統的な木造建築の工法が用いられています。このような建物の修理では、傷みの激しい部材は新調しますが、部分的に傷んでいる部材は、その部分のみを削り取り、当初より使われていた部材を再利用します。削り取った部分は、新しい木材を用いて補修を施しますが、当初からの使用部材と整合を保つため、その加工には、熟練した木工技術が必要になります。書院等の修理工事では、このような補修作業を手掛ける幅広い年代の職人が携わっており、様々な工法や技術が引き継がれる場となっています。今日まで守り伝えられた木造建築の建物だけでなく、伝統的な工法や技術についても、未来への財産として次世代へ継承できるよう、今後も計画的に事業を進めてまいります。

（文化財保護課）



第25回八幡市小・中学生人権啓発ポスターコンクール表彰式

12月4日(土)、八幡人権・交流センターにおいて「第25回八幡市小・中学生人権啓発ポスターコンクール表彰式」を行いました。※人権フェスタの第2部として開催。

「人権」(人に対する思いやり、やさしさ、友人関係、いじめなど)について日頃感じていること、願っていることを絵画と言葉で表現する本コンクールには、市内の小・中学生から総数1269点の応募があり、市長賞には平位 実鈴(ひらい みすず)さん(美濃山小学校6年)の作品「笑顔ってまほうだよ」が選ばれました。

表彰されました受賞者15名は、次のとおりです。

(社会教育課)

【市長賞】平位実鈴(美濃山小学校6年)

【教育長賞】山本撞奈(八幡小学校6年)

【人権教育推進協議会 会長賞】川崎悠月(男山東中学校3年)

【教育長特別賞】長柄野乃花(男山中学校3年)

【人権教育推進協議会 会長特別賞】橋本夏葵(南山小学校5年)

【優秀賞】倉谷鈴(くすのき小学校6年) 木村葵(さくら小学校5年)

手嶋もも(さくら小学校6年) 吉村莉那(橋本小学校6年) 安田天剛(有都小学校5年)

森本修平(中央小学校6年) 大川菜々子(男山第二中学校2年) 額田愛果(男山第二中学校2年)

池田香弥(男山第三中学校2年) 八木玲汐(男山東中学校1年)

敬称略・順不同

受賞作品



市長賞

平位実鈴(美濃山小学校6年)



教育長賞

山本撞奈(八幡小学校6年)



人権教育推進協議会会長賞

川崎悠月(男山東中学校3年)

教育に関する相談及び不登校に係る支援

教育に関する相談

市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に、専門の相談員及びカウンセラーが応じます。

不登校支援 教育支援教室「さつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。市内の小・中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

【問い合わせ】教育支援センター

電話：075-982-3001

所在地：八幡市男山笹谷2

時間：平日 午前9時～午後5時

令和3年度 幼稚園・こども園の取組

運動参観ごっこ 【八幡幼稚園】

10月、運動参観がありました。コロナ禍が続くため、昨年度に引き続き、今年度も全園規模を縮小し、学年別の保育参観という形で行われましたが、子どもたちはやり遂げた満足感や達成感の下、終わってからも繰り返し運動参観ごっこを楽しみました。みんなで全員リレーをしたりパラバルーンをしたり、3歳児が5歳児にかけて勝負を挑んだりとたくさんの刺激を受け合いながら、のびのびと体を動かして遊ぶ楽しさを感じ、友達とのつながりを深めることができた秋でした。



消防自動車作り 【八幡第三幼稚園】



消防自動車来園を楽しみにしていた幼児が「消防自動車を作りたい」と言い始め、大きな段ボール箱や必要な材料を友達と一緒に集めて、考えを出し合いながら作り出しました。「中に入って運転ができるようにしたい」「火を消すホースもいる」と自分の思いを友達に伝え、時には意見が合わないこともあったのですが完成することができました。園庭開放に来ていた未就園児を乗せてあげたり、避難訓練で八幡消防署から来園して下さった消防士さんに見てもらったり大満足の表情で遊んでいました。

交通教室 【八幡第四幼稚園】

八幡警察署による交通教室に5歳児が参加し、「止まる・見る・待つ」に「合図」を取り入れた横断歩道の安全な渡り方を教えていただきました。手を挙げて合図をして運転者と目を合わせ、自分の存在に気付いてもらったり、渡りたい意思を伝えたりすることが大事だという話を聞き、実際にみんなで動いてみました。登降園時にも親子で意識して歩いてもらい、交通ルールを守って自分で安全に道路を歩くことができる小学生になってほしいと思います。



自然との関わり 【橋本幼稚園】



園の近くに畑を借りて、サツマイモの苗植え、水やり、収穫をしました。コロナ禍で、栽培した野菜を園で食べることができていませんが、サツマイモは焼き芋にして食べました。火が燃える様子を見たり、煙の臭いをかいだり、自分で新聞紙とホイルで巻いた芋を炭火の中に入れて待つことで、ホクホクの焼き芋になりました。焼き芋を食べながら、心まで温まるような時間を過ごすことができました。今後も、自然環境に自ら関われる子どもになるように、自然との出会い、環境の工夫を心掛けたいと思います。

ミニチュアホースがやって来た!! 【有都こども園】

八幡市公園施設事業団の主催でこども動物園のミニチュアホース（ココア3歳）、ウサギ、モルモットがやってきました。0～5歳児、全園児が参加し、子どもと同じ目線のココアちゃんにドキドキしながら餌のスティック人参をあげたり、触ったりしてたくさん触れ合うことができました。ココアちゃんが走ったり、芝生の上をゴロンゴロンと寝転がってじゃれたりする姿を見て、子どもたちは拍手をして大興奮でした。動物との出会いを通してたくさんの喜びや感動、驚きなどを味わうことで、感性が豊かに育ちます。また、準備して下さった様々な人と関わりをもち、してもらったことに感謝する気持ちが育ちます。これからも様々な体験を通して非認知能力を育てていきたいと思ひます。

